

小学3年生 算数 かけ算001 1桁 ^{けた} × 2桁 001 計算のくり上がりなし

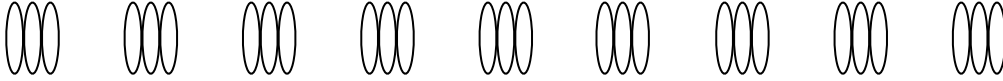
小学3年生レベルかけ算の基本です。

2年生の九九をしっかりと覚えた上で練習^{れんしゅう}してみましょう。

3年生からは、かけ算を少しずつ理解^{りかい}できるようになりましょう。

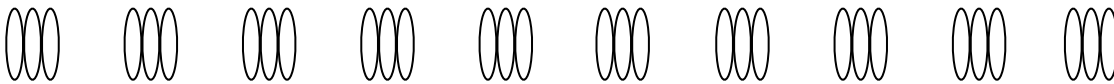
$3 \times 9 = 27$ は、3が9個あるということです。簡単に図にしてみましょう。

$3+3+3+3+3+3+3+3+3=27$ ということになります。



$3 \times 10 = 30$ は3が10個あることになります。

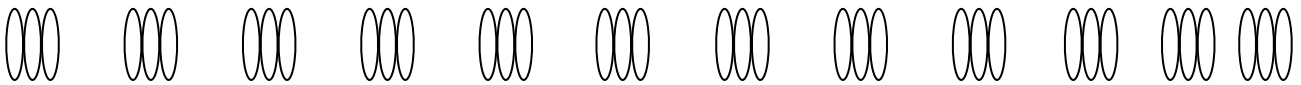
$3+3+3+3+3+3+3+3+3+3=30$ ということです。



では、

3×12 はどうなるでしょうか。

同じく $3+3+3+3+3+3+3+3+3+3+3+3=36$ となります。



でも3をいっぱい足すのは大変ですから、かけ算が便利^{べんり}ですね。

3×12 は

3が10個で30

$3 \times 10 = 30$

3が2個で6

$3 \times 2 = 6$

となり、これで3が12個分あるの合計で36です。

式 $3 \times 12 = 36$

このような理解がなくても、単に1のくらいと10のくらいにかければいいだけですが、理解していると計算のミスに気づきやすいですし、その後に算数がむずかしくなっても、1桁^{けた}まちがってしまうミスなどにも気づきやすいと思います。

例題A ^{れいだい} 答えは次のページの例題Bの下にあります。

$$3 \times 11 =$$

$$5 \times 11 =$$

$$4 \times 10 =$$

$$7 \times 11 =$$

$$5 \times 10 =$$

$$6 \times 10 =$$

$$3 \times 13 =$$

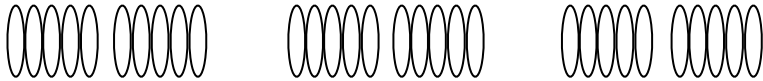
$$8 \times 11 =$$

小学3年生 算数 かけ算002 2桁 × 1桁 001 計算の繰り上がりなし

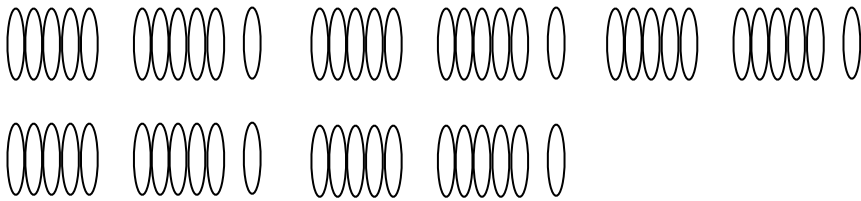
2桁に1桁をかける計算もやってみましょう。

わかりやすくするために、今回も簡単な図にしてみましょう。

$10 \times 3 = 30$ 10が3個分ですから、下の図のようになりますね。



$11 \times 5 = 55$ も図にしてみましょう。

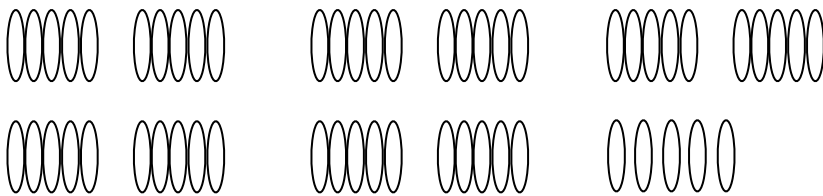


これでイメージがつかみやすいと思いますが、

$10 \times 5 = 50$ 10の位が5個

$1 \times 5 = 5$ 1の位が5個 というように

分けて考えてみると下の図のようになります。



このように図にしてみると、かけ算のイメージがつかめて理解しやすいと思います。

例題B

答えはこの例題Bのすぐ下にあります。

$10 \times 6 =$

$13 \times 3 =$

$10 \times 7 =$

$11 \times 7 =$

$11 \times 3 =$

$12 \times 4 =$

$12 \times 3 =$

$11 \times 9 =$

例題Aの答え

$3 \times 11 = 33$

$4 \times 10 = 40$

$5 \times 10 = 50$

$3 \times 13 = 39$

$5 \times 11 = 55$

$7 \times 11 = 77$

$6 \times 10 = 60$

$8 \times 11 = 88$

例題Bの答え

$10 \times 6 = 60$

$10 \times 7 = 70$

$11 \times 3 = 33$

$12 \times 3 = 36$

$13 \times 3 = 39$

$11 \times 7 = 77$

$12 \times 4 = 48$

$11 \times 9 = 99$